

豊田工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	建築設計製図ⅢB	
科目基礎情報							
科目番号	53202			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	建築学科			対象学年	3		
開設期	後期			週時間数	4		
教科書/教材	「コンパクト建築設計資料集成」日本建築学会編(丸善) / 住宅特集、住宅建築、新建築、a + u など建築関係の雑誌						
担当教員	竹下 純治,永治 祐太						
到達目標							
(ア)エスキースによる設計プロセスが十分になされている。 (イ)発想、コンセプトが豊かである。 (ウ)求められる空間に見合った適切な構造で作成することができる。 (エ)空間相互の機能的なつながりを理解し、合理的な空間構成を作成することができる。 (オ)正確な模型や図面が作成でき、建物内容に見合った適切な図面表現ができる。 (カ)様々な諸条件を総合して、美的な空間を創造できる。 (キ)設計主旨を伝達でき、質疑に対して適切な応答ができる。 (ク)課題提出に至るスケジュールを厳守できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準の到達レベルの目安(可)		未到達レベルの目安	
評価項目(ア)	調査の上、要求される空間特性や形態的特徴などの条件を理解し、斬新なコンセプトを創出できる。			調査の上、要求される空間特性や形態的特徴などの条件を理解し、コンセプトを創出できる。		調査の上、要求される空間特性や形態的特徴などの条件を理解し、コンセプトを創出できない。	
評価項目(イ)	既得の知識・イメージにとらわれず、質の高い建築空間を発想し、それらを美しく表現できる。			既得の知識・イメージにとらわれず、建築空間を発想し、それらを表現できる。		既得の知識・イメージにとらわれず、建築空間を発想、表現することができない。	
評価項目(ウ)	空間相互の機能的なつながりを理解したうえで、合理的な空間構成を美しく作成することができる。			空間相互の機能的なつながりを理解したうえで、合理的な空間構成を作成することができる。		空間相互の機能的なつながりを理解したうえで、合理的な空間構成を作成することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 A 社会の変化・要請を捉えて、問題を分析・抽出し、様々な条件の下、専門知識・技術を用いて、問題を解決するもしくは新たな提案を発する能力を修得する。 学習・教育到達度目標 B2 建築分野の必要な基礎的知識や技術を修得する。 学習・教育到達度目標 C2 図面判読能力および、設計意図・内容を十分に伝達できる説明力とプレゼンテーション力（記述・作図技術や模型製作技術）、討議能力を修得する。 学習・教育到達度目標 D1 日本語により論理的な記述、口頭発表、討議等ができる。 本校教育目標 ① ものづくり能力 本校教育目標 ② 基礎学力 本校教育目標 ③ 問題解決能力 本校教育目標 ④ コミュニケーション能力							
教育方法等							
概要	第2学年の「木質構造」で習得した木造住宅に関する知識や第3学年の「建築計画Ⅰ」で習得した計画に際して留意する事項、住宅の計画に関する知識等を基に、住宅の設計を行う。大きく前後半2課題とし、第1課題は戸建て住宅、第2課題は低層集合住宅の設計を行う。2課題共通の目標として、住まい方を理解し、プライベートとパブリックなどといった住空間の分析と、それに基づいた魅力的な住空間の構築＝設計を行う。						
授業の進め方・方法							
注意点	提出期限を厳守すること。病気などの特例を除き、期限以降の提出は一切認めない。特例の場合は診断書などを提出すること。						
選択必修の種別・旧カリ科目名							
選択必修1							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	第1課題ガイダンス、課題説明、エスキース		上記(ア) (イ)		
		2週	第1課題エスキースおよびチェック、必要に応じて図面作成、エスキース提出		上記(ア) (イ)		
		3週	第1課題エスキースおよびチェック、必要に応じて図面作成、エスキース提出		上記(ア) (イ)		
		4週	第1課題模型製作、図面作成、同提出		上記(ウ) - (カ)		
		5週	第1課題模型製作、図面作成、同提出		上記(ウ) - (カ)		
		6週	第1課題模型製作、図面作成、同提出		上記(ウ) - (カ)		
		7週	第1課題模型製作、図面作成、同提出		上記(ウ) - (カ)		
		8週	第1課題講評会		上記(キ) (ク)		
	4thQ	9週	第2課題ガイダンス、課題説明、エスキース		上記(ア) (イ)		
		10週	第2課題エスキースおよびチェック、必要に応じてスタディ模型作成、エスキース提出		上記(ア) (イ)		
		11週	第2課題エスキースおよびチェック、必要に応じてスタディ模型作成、エスキース提出		上記(ア) (イ)		
		12週	第2課題模型製作、図面作成、同提出		上記(エ) - (カ)		
		13週	第2課題模型製作、図面作成、同提出		上記(エ) - (カ)		
		14週	第2課題模型製作、図面作成、同提出		上記(エ) - (カ)		

		15週	第2 課題講評会	上記（キ）（ク）	
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	課題	課題	合計		
総合評価割合	50	50	100		
専門的能力	50	50	100		